間の自然との関わりが権力の行使と

ころで環境が政治の課題となり、人

殖テクノロジー…。 現在、

いたると

原子力、気候変動、食の不安、生

の結びつきは二○世紀後半になって 結びついている。だが、自然と権力

ピム・ラートカウ

の個人的告白」)が寄稿された。ド 故後に考えたこと、そしていくつか の序文とあとがき(「フクシマの事

イツ屈指の環境史家の主著、

き下ろしの一節に加え、日本語版へ

さらに、日本の環境史を論じた書

●東京大学出版会・白水社・みすず書房のPR紙●

様な地域と時代をめぐり、グローバ 初めて生じたのではない。本書は多

論じる。人間と自然のハイブリッド

しつつ、そうした結びつきの歴史を ルな構造とローカルな多様性を照合

ドイツ屈指の環境史家の主著

付・日本語版へのあとがき 「フクシマの事故後に考えたこと」

> ヨアヒム・ラートカウ 《自然と権力 環境の世界史》 海老根剛·森田直子訳

> > を経て、

、その後、

より大規模な技術

イツ原子力産業の隆盛と危機』 (83) ツの産業と政治』(74、共著)、『ド 会が増大。著作活動として、『ドイ 環境問題への発言を要請される機

おける環境史の役割 迷宮のなかで/終章

[環境・思想・歴史]【七月上旬刊】

* 月刊『みすず』に昨年 (A5判・器頁・七五六〇円)

掲載されて、大きな反響

をよんだ「ドイツ反原発

表する専門家として、

原子力問題と

のコロニアリズム/第5章 自然の

4章 環境史における分水嶺として 関係/第3章 水、森林、権力/第

限界にて/第6章 グローバル化の

政治的議論に

学名誉教授。3・11後、ドイツを代

者(環境史)

で、ビーレフェルト大

態学

人間と自然の原初的共生

る/第2章 自給自足と暗黙知の生

[目次抄]第1章 環境史を熟考す

であり、まず読まれるべき一冊。

著者は一九四三年生まれの歴史学

邦訳。質の高い思想と歴史研究に裏 つけられた環境問題を考える重要書

果が本書である。

と環境をめぐる探究を続けたその成

密に描き出し、環境への眼差を一新

する環境史となっている。

な諸結合の組織化、解体の過程を緻



2012 夏

(表示価格は消費税込です)

113-0033 東京都文京区本郷 5-32-21 tel. 03-3814-0131 http://www.msz.co.jp

したのは、二〇一二年一月二九日に

ラートカウさんとはじめてお会い

あった。実を言うと私はそれまで、 知らなかったので、驚き、畏れいっ ウさんの報告は、底なしの深い知識 ポジウムにおいてである。ラートカ フートカウという歴史学者の存在を 大阪市立大学の主催で行われたシン てしまった。 と強靭な判断力を感じさせるもので

るという。そしてその主著『自然と の作者、神経過敏の歴史の著者であ とのことであった。 権力』を海老根さんらが翻訳した、 ヴェーバーのはじめての総合的伝記 原子力の歴史の第一人者、マックス・ を中心とする環境史の権威、ドイツ んに伺うと、ラートカウさんは木材 主催者の一人であった海老根剛さ

- クショップが開かれた。 そこで私 翌々日には原発問題についてのワ

> ある。 う史料に「たまたま出喰わす」とい 歴史を書いたことを知った。こうい あることを立証する、重要な指標で うことは、その人が偉大な歴史家で から本音を引き出して原子力産業の 本音を言うはずのない原子力関係者 して見られない一次資料を駆使し、 ラートカウさんが、普通なら決

形成が論じられるが、それを読んで たく凄まじい。第3章の途中あたり られている研究書の量たるや、まっ 文献に依拠しているが、そこで論じ の地域に及んでいる。主として二次 対象となる地域は、地球表面の全て 歴史的観点から論じているが、その それを阻止するためと称する権力の で、世界中のあちこちの川の洪水と、 『自然と権力』は、 自然と権力との相互関係を、 タイトルのご

こういった簡単な物語は、

いるうちに私は、この本から溢れだ

す知識の洪水に巻き込まれ、まるで スのように、無数の箒の汲み上げる ディズニー映画『ファンタジア』の 水に流されていく気がした。 「魔法使いの弟子」のミッキーマウ

石資源の枯渇という形で用いられ たレトリックに過ぎない。同じ語り 説的なストーリーが、何の証拠もな 社会の破局を救ったのだ、という定 口は、原子力の導入に際しても、化 形成を正当化するために生み出され う。この物語は、営林を通じた権力 それが科学的林業を生み出し、西欧 八世紀に深刻な森林破壊が起きて 純な真理である。ラートカウさんが が我々に教えることは、まことに単 いことを発見したからであると 環境史の研究に踏み出したのは、 しかしそのラートカウ河の大洪水

常に何

『自然と権力』という「生きるための歴史学 冨 歩

考こそが、最も大切なのである。 う人間に本源的な感覚に依拠した思 渉猟から明らかにしたことは、こう な空気を吸えば気持ちがいい、とい いしい水を飲めばおいしく、きれい 達できない、ということである。お いったやり方では、真理に決して到 ラートカウさんが、膨大な文献の

る。」(三八○頁)と指摘し、恐怖や

いうことを、歴史の経験は示して、 理は地獄への信仰を必要としないと 要としているのだろうか。実践的倫 世界の破滅に対する不安を本当に必

ラートカウさんは「環境運動は、

不安ではなく、愛こそが道を開くの

より厄介な問題へと変換するに過ぎ

ても言える。

論」で解決策を主張するのも、 勝手な「像」を捏造し、勝手な「理 しい欺瞞となる。

するように作動する。そうやって導 的物語は、人々の感覚の喜びを否定 紀の地球温暖化まで、大きな黙示録 人される「解決策」は、常に問題を 八世紀の森林枯渇から、二一世

も、あるいは逆に歴史を無視して、 こうなるに違いない、と予測するの り、それが如何に事実から乖離して る。それゆえ過去の歴史に「学んで」、 を実体化して議論しても無駄であ 開されるのであって、現象そのもの 機の物語のみならず、「危機など捏 学的・社会的コンテキストの上に展 史のひとつの役割である。それは危 いるかを明らかにすることが、環境 造だ」という逆のレトリックにつ 歴史的な現象というものは、 生態

たちはこの自然を他の多くの人々や けのものではない。というのも、私る。しかし、それは私たちのためだ 自然である。」(四五八頁) 生物と共有しているからである。そ 疑いもなく私たちのための自然であ のために戦うことができる自然は、 れは永遠の自然ではなく、 だと主張する。「私たちが愛し、 歴史的な そ

いて語ることかな」という対話を引 この哲学の上に展開される果てし 自然への愛も、セックスとそう大

この膨大で幅広い知識を必要と 「生きるための歴史学」

ない。ラートカウさんは言う。 環境史から得られる教訓 ……特定の環境問題の大掛かり

らかの目的をもって語られるのであ

りわけ厄介な新しい環境問題を な解決策こそが、繰り返し、と 作り出すということである。

事態を改善する力を持つ。 とする、そのような「運動」や「研 き道を見出し、それを連帯可能な 究」のあり方こそが人々の心に訴え、 事実の積み重ねのなかから、進むべ この煉獄を離脱して、個々の現場に 人々との関係を取り結ぶための契機 おける一見したところ些細に見える 九頁

用した上で、次のように結論する。 間セックスして、五ヶ月間それにつ ない議論の果てに本書は、二人のト 的にドイツ的なこと」とは、「五分 ルコ系ドイツ人女性による、「典型 のである。 はまさに セージだと言うべきであろう。本書 これこそがラートカウ歴史学のメッ もまた、このことを折に触れて思 い出すべきなのだ。(四五六頁) きくは違わない。環境史家たち な

偉業を成し遂げた訳者に敬意を表 する本を、正確に翻訳するという

自転車旅行中の著者

(やすとみ・あゆむ 社会生態学

を、本書に続いて今秋、

小社から刊行予定です。

トカウ書き下ろしの著書 運動小史」を収めるラー 2012年(平成24年)6月15日

チョコレートの帝国

ーシー社のミルトン・ハ

となり、国内では愛国産業と

二〇〇四年、フランス政府

《「ね、おばあちゃんがお手

ツ〉の理想は少年少女をも熱

狂させた。加害者でも被害者

第6号 いて大声をあげた。「ヒトラ 団にはいると、アドルフ・ヒ いたのと違うとわかってがっ 本にしてる人っている?」 トラーがお手本になったの」 たくさんいたわ。……思って 両親よ。そして、十歳で少女 かりさせられたこともあるわ ね。最初のお手本はもちろん 「昔はお手本にしたい人が 「ヒトラー?」ハンナは驚

た……」》 世の中なんて想像できなかっ 泣いたわ。ヒトラーのいない ラーの死を聞いたとき、私は 教えられたの。ラジオでヒト はドイツで一番えらい人だと 「子どもたちは、ヒトラー

になぜ……」

ーって大悪人でしょ?

なの

農村をとわず組織的に国中に 戦下、ナチスの思想は都市・ を克明に伝える20の物語。大 ちの目に映った「あの時代」 浸透し、 十代前半の子どもた 〈世界に冠たるドイ

ョン『みえない雲』(邦訳は し、その狂気に翻弄され…… でもなく、しかし時代を体験 小学館刊)で、80年代に原発 ヤングアダルトのフィクシ

グードルン・パウゼヴァング 高田ゆみ子訳

戦後60年、

とのなかった負の歴史が、痛 明るみに出るこ

十代が体験したナチスの時代

国少女」から、戦後は価値の は、自身、終戦時に17歳。 「軍 禍をいちはやく警告した著者

そこに僕らは居合わせた》 語り伝える、ナチス・ドイツ下の記憶



菓子から見えるアメリカと20世紀

ジョエル・G・ブレナー《チョコレートの帝国》

を争ってきた、キスチョコの こした、アメリカンドリーム のM&Mチョコで知られる を体現する人物である。 「マーズ」。いずれの創業者も コレート業界で、常にトップ 大衆文化の象徴といえるチョ **于作り菓子の行商から身をお** ハーシー」 コーラとともに、アメリカ と、色とりどり 九九)は徹底した合理化と品 ーシー (一八五七—一九四 質管理を具現化し、自社を巨 ト・マーズ (一九〇四一一九 マーズ家二代目のフォレス チョコレートは軍の糧食の柱 大企業に押し上げた。彼らは にした理想郷づくりに挑み、 五)はチョコレート工場を核 戦争」をもビジネスに利用。

るノンフィクションの傑作。二十世紀という時代を活写す して浸透した。 (四六判・40頁・三九九〇円) [経済・歴史] 菓子から見えるアメリカと イスラムとEU

ジョーン・W・スコット 《ヴェールの政治学》 日常化する不寛容

境に適合しているのである。

の着用を禁止した。違反する は公立学校でイスラムのヴェ ヨーロッパが普遍主義を謳い 少女達は放校処分。背景には、 ながら、イスラム世界に対し て行ってきた植民地主義・人 -ルなど宗教を誇示するもの 幹を明らかにする基本図書。 化するEUの現在と問題の根 解説論考を付す。 五七〇円)に付した「日本の クソン『人種主義の歴史』(三 人種主義をみすえて」に続き 李孝徳が前訳書のフレドリ

種主義・女性差別がある。 異質な他者への不寛容が法 (四六25頁・予価三六七五円) 社会学】【七月 年旬刊)

みをおして今、語られる。 (四六25頁・予価二六二五円) [文学·現代史] 【七月中旬刊】 V・E・フランクルの伝記 いる』重版のお知らせ 人生があなたを待って

らが体験した人間の極限状況 を静かに綴る不朽の書『夜と 友に執筆をゆだねた夫妻の伝 フランクルが、信頼する若い 霧』を著したヴィクトール・ ドイツ強制収容所でみずか そんな不自由と恐怖を求めて る。ひとはなぜ自らすすんで、 むのが、サスペンス映画であ 観客をもそんな状態に巻き込 かれること。登場人物および りの状態、未決定の状態に置 「サスペンス」とは、

を超えて、宙吊りそのものの 映画を見るのか。 不安と畏れが、いかに観客を づく説話論的サスペンス理解 感情移入とカタルシスに基

だからこそ、真実を若い人に

言者はまもなくいなくなる。

語り伝えなければならないの

代に属する。「この時代の証

八〇度の転換を迫られた世

赤坂桃子訳(全2巻)を重版 記。H・クリングバーグ・」 いたします(各二九四〇円)。 『人生があなたを待っている』

世界初のジャズ論

アンドレ・シェフネル ≪始原のジャズ アフロ・アメリカンの音響の考察》

シェフネル。一九二六年発表 展開された本書は、ジャズ進響きに基づく独自の音楽観が してきた民族学者=音楽学者 なくひもとける快著である。 化の果ての今こそ、逆に予断 あった。音それ自体、楽器の ャズは未だ公衆にとってノイ こうとしたのがシェフネルで ヤズを真剣に受け止め、見抜 ズだった。そうしたなか、ジ ようやく再評価の機運が熟 九二〇年代初頭パリ、ジ

は、その卓見、独創性が存分 記念碑的デビュー作の本書に [音樂·民族学]【六月下旬刊】 に発揮されている。 遠くサイバネティクス、カオ キュルの主著。その革新性は ス - 複雑系から人工生命理論 までを射程に収める。 パラダイムを導入したユクス

(四六24頁・予価三五七〇円) たのではない。あらゆる生物 って徐々に環境に適応してき 生物は自然淘汰と進化によ つねにすでに、各々が環

制化され、差別と紛争が日常 化の一元論を退け、生物の多 元性と環境への多様な適合機 対世界」「機能環」という三 系統樹モデルによる生物進



宙吊りの魅惑、 気鋭の本格論考

三浦哲哉 《サスペンス映画史》

ウェルズ、ターナー、ヒッチ 息づまる(映画的な)場面描 像分析、小気味よい論理展開 ーストウッドまで、斬新な映 コック、スピルバーグからイ セネット、キートン、ラング 魅了するのか。グリフィス、



クラシック音楽と私の半世紀

∞∞∞ 徐京植≪私の西洋音楽巡礼

象主義から遠く離れて』山内 年記念]シェフネル『ドビュ 里佳訳(本面下に広告掲載) ▼既刊 [ドビュッシー生誕150 十代の私、一九八〇年代の私 書いた。そこに映ったのは三 術という鏡に映る自分自身を とも、美術批評ではない。美 の西洋美術巡礼』に書いたこ マチュアである私が、音楽と ったのである。私がかつて『私 いう鏡に映して自分自身を語

ッシーをめぐる変奏―

ヤーコプ・フォン・ユクスキュル 自然淘汰へのアンチテーゼ === 《動物の環境と 内的世界》

〈環境世界〉という画期的な 一〇世紀前半の生物学に 識論的基礎を与えた、現代の (A5判・51頁・六三〇〇円) つの概念によって生物学に認 [生物学・哲学]

音楽批評ではない。一人のア 私がここで書いたことは、 ーベルト、そして尹伊桑につ ルク音楽祭、マーラーやシュ 数々のコンサート、ザルツブ シック音楽との出会い、母や 私的音楽エッセイ集。 縦横にわたりながら紡がれた いて… 時代と土地と文献を ートナーとともに出向いた 家族や友人のこと、さらにパ ○○○年代の私である」 っているのは五十代の私、 幼時から少青年時代のクラ 音楽という鏡に映

を信じよ! ▼好評既刊 徐京植『汝の目 (四六26頁・予価二九四〇円) (三六七五円) -統一ドイツ美

ガランコミラノヴィチ《不平等について [仮題] あなたは世界の所得分布のどこに? 人類永遠のテーマを理解する26話》

的なのに案外難しい問題だ。 うに測られるのか?は、基本 社会デモ=オキュパイ・ウォ が、その「不平等」がどのよ 差の問題は新聞記事の定番だ ールストリートなど、所得格 世代間格差の拡大、反格差 「所得と富の不平等-る。第2に、国や民族の間の な不平等、つまり、全世界の 近になって表面化してきた問 い。第3に、その重要性が最 所得の不平等を取り上げた ついて取り上げたい」 人々の間に存在する不平等に すなわちグローバル

ミュニティの内部における、 は、不平等を3種類に分けて の問題を現代から過去の歴史 個人間の不平等について考え 考察する。第1に、単一のコ にまで遡って考えるのが、本 書のテーマである…本書で 世界の所得分布のどこにい 平等だったのか〉〈あなたは 人類永遠のテーマに迫る る?〉など身近なテーマから (四六33頁・予価三九九(〈ローマ帝国はどれほど不 [経済]【七月下旬刊】

新鋭による一級の映画史。 方を提示する。表象文化論の 写によって、新たな映画の見

(四六判・32頁・三五七〇円)[映画]【六月下旬刊】

フリッツ・ラング 『M』より

齋藤紘一訳 ①四五一五円②③各四七二五円視し、自由を手放さなかった人の奇跡の文学。 グロスマン 戦争と収容所の時代に権力を凝 ニールス・ボーアの時代

字を主導した巨人。 ハイス アインシュ 西尾成子他訳①六九三〇円②七九八〇円 物理学・哲学・国家 [全2巻] 第一人者が描く決定的伝タインとともに20世紀科

印象主義から遠く戦 ドビュッシーをめぐる変奏

係を詳述し、ドビュシェフネル 文学、 迫る先駆的重要作 | ッシーの本質と革新性に演劇、美術との濃密な関 山内里佳訳 三九九〇円

革命期の見取り図。高橋憲一訳 四四一〇円ら利用することへ〈革命〉されたのか。科学ディア 科学はいかに自然を理解することか科学革命の現場で何が起こったか 知識と経験の革命

た民族学の名著。宮治美江子訳 四二〇〇円宗教ではなく、親族構造であることを解明しティヨン ヴェールによる女性隔離の起原は 地中海社会の親族関係と女性の抑圧

イトコたちの

共和国

ピダハン 言語本能」を超える

遍幻想を揺さぶる。**屋代通子訳 三五七〇円**もないピダハン族の世界が、文化と言語の普上の世界が、文化と言語の普上のエヴェレット [大好評2刷] 数も「左と右」 屋代通子訳 三五七〇円

音樂·現代思想【七月下旬刊】

解決法を解説。田辺希久子他訳 五二五〇円支持する名著。プロとしての指針と、問題のジル 多くの指導者、研究者、学習者が強く 通訳翻訳訓練 HFTN 基本的概念と

老化の進化

1968年 反乱のグローバリズム

を詳細に追う快作。下村由一訳 三七八〇円起こったか。米仏独伊英、日本、東欧の出来事とこったか。米仏独伊英、日本、東欧の出来事

時の余白に

震災後半年を含む五年余の軌跡。二六二五円に、現代社会を照射した人気コラムの書籍化。 が川喜好 世相に息づいている美を手がかり

建築を考える

にが、創造に デー世界中の クリエイター 鈴木仁子訳 こめる確かな想いを綴っソリエイターの尊敬を集 三三六〇円

みす ず 書房新刊 2012 1 6

〒0三六一四-0三 東京·文京·本郷5 (価格は税込です)

ノイズ 音楽/貨幣/雑音 《始まりの本》

人生と運命 [全3巻]

来図。金塚貞文訳 陣野俊史解説 三三六〇円変容を通し描出される消費社会/文化の近未変容を通し描出される消費社会/文化の近未のより、生活の雑音から音楽産業へ。音楽のアタリ

岸と彼岸」を収録。妙木浩之解説三一五〇円の指南書に、単行本未収論考「心理療法の此衛」、東行本未収論考「心理療法の此別で最後電山徳爾」熟達の臨床家が遺した最初で最後 素足の心理療法

チーズとうじ虫の世界像《始まりの本》 6世紀の一粉挽屋

著。杉山光信訳 上村忠男解説 三九九〇円深層を照らすスリルに満ちた現代歴史学の名ギンズブルグ 異端審問記録から民衆文化の

のエッセイを精選。川端康雄編 二九四〇円者がゆかりの土地や建物を訪れて綴った晩年 没後三十年。モリス研究の第一人 ウィリアム・モリス通信〈メトヘの本棚〉

田大学大学史資料センター編 一〇五〇〇円の中江兆民書簡、新島襄など一七七名。早稲徳富蘇峰が西欧から宛てた7通初め、初公刊 大隈重信関係文書のよう

書物復権2012 5月 により、次の書籍を復刊いたしました。 乳におきまして、皆様からのリクエスト第16回を迎えた〈書物復権〉8 社共同復

憲法論

した古典。[復刊] 阿部・村上訳 六八二五円法の発展を、思想史的・社会学的に鋭く分析法の発展を、思想史的・社会学的に鋭く分析

心の概念

る。[復刊]坂本・井上・服部訳 五九八五円言の書。心身二元論の伝統を根底的に批判す言の書。心身二元論の伝統を根底的に批判す

認識批判の基本的諸問題の研究 実体概念と関数概念

て把握する。「復刊」 山本義隆訳 六三〇〇円の形成を、〈実体〉から〈関数〉への発展としかりや一ラー 数学的・自然科学的思惟構造

クナッパーツブッシュ

代との関係を問う意欲作。[復刊] 三一五〇円の先に見えてくる大指揮者の真の姿。暗い時の先に見えてくる大指揮者の真の姿。暗い時のたい時に対している。そ

的業績。一明する。 ブルデュ 実践感覚 [全2巻] [復刊] 今村仁司他訳 各三四六五円現象学と構造主義を包摂する記念碑は (慣習的行動 = 実践) の意味を究

生きものたちの繁栄を物語

ては謎そのものである古代の

め、左右を表す名詞、色

を表す形容詞などの言

の奥地で自力で暮らしてい の言語そのものがアマゾン

もしかして……。

下に広告を掲載しています

『ピダハン』は本紙二面

ンの村へ移り住む。だがピ

うか存在しない)。そこに たことしか信じない

レッシャーも死も、

自然に

涯を送っている。環境のプ 以上に幸せで、充実した生

の生きる力に触れた誇りの

ぜだろう。それは同じ人間

ような救済なのかもしれな

(はっとり・ぶんし

受け入れて清々しい。その

とい

ダハンの世界には、過去

や過去完了などの時制

ような伝承もない。 は自分たちの起源を伝える

著者は次第に、ピダハン

っており、深みにおいては世界観は魅力的で、筋が通

・神という概念をはじ

てアマゾンの奥地、ピダハ ト教伝道師兼言語学者とし

2012年(平成24年)6月15日

が変わってしまった。 とピダハン後で少し世界観

著者はバリバリのキリス

蹴飛ばされて、ピダハン前

服部文祥

D. L. エヴェレット

《ピダハン》

屋代通子訳

を読む

ほどまでに根本的なことを

とになるからだ。私はそれ

な悩みが新たに生まれるこ 霧散しても、硬い芯のよう

しくは報告者が直接体験し

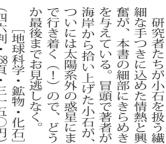
だの小石。そこから四六億年 地球全史をエレガントに描き の記憶が解き放たれる-出す珠玉作だ。 鉱物、化石の来歴を調べ上げ、 それは海岸で見つけた、た 石に閉じ込められた元素、 この小さな本に収まってい

動の生みだすとてつもない圧 力を発見する、そんなディー 超ミクロ構造にクローズアッ を白昼夢のように眺め、ある 密度空間における鉱物の変化 どる旅は、古代の海で奇奇怪 れている。 地球の営みが躍如として描か いは雲母の粒や石英の結晶の に出逢い、地下に潜っては高 怪な太古のプランクトンたち るのが不思議なほど、壮大な ノな冒険なのだ。 著者の専門とも関連の深 して、大陸の移動や造山運 小石のルーツをた

述がまず見事。「筆石」「アク い、小石の「泥の時代」の記 いった微化石が、いまとなっ リターク」 キチノゾア」と



ヤン・ザラシーヴィッチ 《小石、地球の来歴を語る》



らに髙橋治、西木正明、 学者河合雅雄のエッセイ。 カヌーイスト野田知佑、サル の知られざる名篇、辻まこと、 舩井裕や彫刻家舟越保武など ちの不思議な味の随筆、画家 素石や雨村といった釣り師た

さ

四六判・28頁・三一五〇円)



きた。だがじっくりピダハ 洋文明はそのような文明を 理解していく。これまで西 くための世界観の表れだと 未開として見下して

ままならない。数を数える

を推薦する。いや、もしか 悩むすべての人に強く本書

現代社会で生きることに

葉が存在せず、

普及活動は

したら知らない方がいいか

もしれない。些細な悩みは

ターできず、政府も国家も も1+1をだれひとりマス こともなく、いくら教えて

自分の見たもの、も

彼らはどうやら我々が思う の世界に触れてみると、 じように壊される。

されたはずなのに、直って もしれないという不安に取 分の進む道の先にはないか 求めるそれらのものが、自 何か、幸福とは何か、追 だけではない。豊かさとは だ。だが転覆するのは著者 覆する様は見ていて痛 リスト教徒と科学知識が転 いるような気がするのはな り巻かれつつある我々も同 万の神に近い面もあり、キ ピダハンの世界観は八百 だが壊

師(および釣りをしない人) イまで、十三篇どれもが釣り 獏たち人気作家の釣りエッセ の心を騒がせ慰めてくれる。 (四六判・22質・二七三〇円) 小池昌代解説

海底の生態系は、目を見張る

大人の

本棚

シルル紀の酸素に乏しい

ようなデザインと多様性に満

ちていた。

ペ一葉の

ど小説家の名品だけでなく、

しむか。露伴、井伏、開高な

釣りという遊びをいかに楽

球の脈動が見えてくる。 ドスケープを生み出す固体地 遺された鉱物のディテールか

世界の環境や、地上でラン

四次元の複雑さをもつ地

石」だった時代。小石の中に

それに続くのは小石が「岩

《安楽椅子の

釣り師

湯川 豊編

を知る家族や友人、同時代の りに喜ばれた」(疋田達子) き合わせると涙を出さんばか しがっておられるところへ行 がありました」(戸川秋骨)「寂 た樋口一葉(夏子)。その素顔 明治二九年、二五歳で逝っ 「若い叔母さんという感じ

八ッ場ダム、景観、 森まゆみ《町づくろいの思想》= 震災、現在まで=

ここで〉と声を出してみるが、 町にたたずみ、〈もういちど、 ために私は何ができるのか」 望をもって暮らせるか。その したらここで町を作り直し、 誰も答えてくれない。どう 人々をつなげて行けるか、希 「海沿いの何もなくなった 衛策、八ッ場ダムについて、 社会をつくっていくか として生きるには… と宜野湾市長選、フクシマ人 都市型洪水の防ぎ方、食の自 メディアの功罪、普天間基地 税金の使い方、自分自身で景 観を守ること、派遣社員問題 そう、いかにして私たちが

朝日・読売三社のニュースサ 的な提言と活動をつづける著 震災と福島第一原発事故をへ 軸に二〇〇八年から東日本大 者が問う硬質エッセイ。 て現在まで、日本社会に具体 イト「あらたにす」の連載を 時事エッセイ【七月上旬刊】 日 経 •

状況への批判的介入

のような境界的知識人がそこ をはたす、たとえばサイード い、ときには転倒してしまう と同時に異議申し立てを行 にも安住せず、〈鏡〉の役割 にあって他の場所を表象する 異他なる反場所」。どの文化 いる。 ヘテロトピア。文化の内側 本書は自らの立ち位

上村忠男《ヘテロトピア通信》

た著者が送る「通信」である。 ネグリ、柳田國男らの転回。 件。アガンベン、スピヴァク、 在に、本書で出会うだろう。 死語ではない知識人という存 置を「ヘテロトピア」に定め (四六28頁・予価三七八) 沖縄の集団自決、金嬉老事 [現代思想]【七月下旬刊]



れた一枚の写真 が著者を導いた

り深く迫る、魂の旅路。「ノン フィクション] 掘り下げ、出会った人物によ を経て取材した映画をさらに ーズ」の書籍化である。 ュメンタリー映画「ライファ 四六25頁・予価 本書は著者が監督したドキ サンディエゴの 刑務所で撮影さ 弖

木、馬場孤蝶、半井桃水、幸田 あるいは一人の女性なっちゃ 治の声が甦る。【六月下旬刊】 んの肖像。薄田泣菫、 文学者が綴り語る女文士一 露伴他。現代かなづかいで明 |四六判・19頁・二五二〇円| 平田禿

辻・大久保訳 池内 紀解説シュテファン・ツヴァイク 《女の二十四時間 ツヴァイク短篇選》

> 保坂和志「試行錯誤に漂う」 チェンに訊く」/[新連載] 風」/辻由美「フランソワ・ ランス民族音楽学への新しい の花嫁」/モルテーニュ

ラのホテルで駆け落ちが突発 た「圧迫」収録。【六月下旬刊】 がけなく……」、ツヴァイクら アに満ちた「或る職業が思い る。官能・情熱と知性が一日に 機にイギリスの貴婦人によっ 他に、結末がブラック・ユーモ 凝縮されてせめぎ合う名篇。 て過去の秘密が語り出され して大騒ぎとなる。これを契 い反戦のメッセージをこめ 九○四年頃か、リヴィエ 佐々木幹郎、 母語の外で書く」(六月号)。 外岡秀俊、池内紀、高桑信 災デジタルアーカイブ www を憶えてほしい」」/宮田昇 jdarchive.org」/ブォーマー ドン「2011年東日本大震 (五月号)。ディンモア、ゴー 「『蜩ノ記』とペーパーバック」 ム」/酒井啓子「「私の名前 ファーマーとジム・ヨン・キ 「ここでもそこでもなく (四月号)。山本太郎「ポール・ 連載は小沢信男、大谷卓史、

罪の償いと新しい生き方 坂上香《ライファーズ》

(四六判・25頁・二九四〇円)

植田実、上村忠

他者の苦 スーザン・ソ

へのまなざし

した時、

た。スタッフの多くは元受刑 アーズと積極的に関わってき 間の更生施設「アミティ」は、 国の終身刑受刑者のこと。民 刑務所内プログラムでライフ 償うことができるだろうか。 者や元薬物依存者というユニ 「ライファーズ」とは、 取り返しのつかない罪を犯 人は罪と向き合い、 犯の連鎖から回復の連鎖への をするようになっていく。再が他の受刑者の更生の手助け 転換がここにはある。 る。そしてライファーズ自身 うになったのか」という問い いと新しい生き方を模索す に徹底的に向き合い、罪の償 者たちは「なぜ犯罪を犯すよ プログラムに参加する受刑

「本書は勇気ある対決に必要な理解の獲得に, 大きく貢献するだろう」(アマルティア・セン序文)

豊田英子訳 山本太郎解説

権力の病理 誰が行使し誰が苦しむのか

医療・人権・貧困

四六判 520 頁 5040 円

〒 113-0033 東京都文京区本郷 5-32-21

tel. 03-3814-0131 fax 03-3818-6435

世界の最貧困層と超富裕層のグロテスクな格差が最も深刻 なのは医療の分野だ. ハイチの窮乏, メキシコの貧農の大 虐殺、ロシアの監獄の結核. 30年以上にわたって貧困国 で無償医療活動を行ってきた医師であり人類学者ポール・ ファーマーは, 生きる権利と正義の無残な蹂躙を, 多くの 例証によって示す. 権利侵害は「権力の病理」の現れであ り、現代の諸学が取り組むべき最も緊急な問題として認識 されるべきである――それがファーマーの主張であり、実 践してきたことでもある. 真の解決策のためのバイブル.





みすず書房

クラインマ 他者の苦 しみへの /ファーマー 坂川雅子訳

池澤夏樹解説

《みすず》 最近号より

コサリンスキイ「オデッサ

ソーシャル・ 遠く サファリングを知る ラインマン)●声なき者の表現を掘り起こす の苦しみへの接近とメディア (A・クラインマン) 三五七〇円 (V・ダス)

村井章子訳

収奪の星

天然資源と貧

凼削減の経済学

ポール・コリ

●医療テクノロジーと人権

^クノロジーと人権(M・ロック)●移民の苦しみの、ージの必要を問う 「極度の」 苦しみ (P・ファーマー)

(E・V・ダニエル)

A・V・バナジー/E・デュ フロ

困問題を根っこから考える

貧乏人の

経済学

もういちど貧

上裕生監修 大川 修 訳

三九九〇円

最底辺の モーダック

ポートフォリ

ラザフォード他

野

1日2ドルで暮らすということ

ンタグ 北條文緒訳

http://www.msz.co.jp (価格は税込です) ースレター配信中. ウェブサイトよりお申し込みください シリーズ

始まりの本 始原へ立ち帰り 何度でも 読み直したい 現代の古典。

新組み・新編集・ 新解説で

かで、

科学の

戦後日本社会の変貌に戸惑い 国後、生き残った者として、

比類なき書。

批評・現代史

四六変型31頁・三一

四六変型26頁

五〇円)

望

げた『工場日記』をはじめ、「展

[科学哲学]【六月下旬刊】

所体験をへてきた著者は、帰

敗戦とともにソ連軍に抑留

八年間のシベリア収容

ながら自らの体験を言語化し

半ば形骸化した「慣例」ない ものではない。「お作法」は やスーパーバイザーから教え ものである。(…) それは先生 込まれてはいても、面接者は における「お作法」のような しは「きまりごと」のような 「これらの心得は心理療法

ジにわたって示してあるの それを根拠として用いていた で、その意味が通じるならば、 詳細は、各心得ごとに数ペー ものである。その思考回路の ために持つことが期待され の治療を効果的なものとする れているものとは限らない。 とは、まさに心理面接者がそ 最大限に優先した上で唱えら できず、また来談者の利益を その根拠を十分に示すことが それに比べて私が言う心得 種の思考回路のような

面接者の心のストレッチ 岡野憲一郎

《心理療法/カウンセリング 30の心得》

された、面接者の「心のスト 広く臨床家に向けて著わ

レッチ、となる実用的一冊。 精神医学』【七月中旬刊】

(四六20頁・予価二三二〇円)

科学の「原罪」

と原子力

ナチスへの道筋か、辛辣な批判かー 《政治的 は、全体主義を考える必須の (四六変型29頁・三三六〇円) 開発をめぐる議論に関わるな 朝永振一郎は原子力の研究 江朝**永**振一郎 「原罪」という [政治思想] 《プロメテウスの火》 認識を繰り返し語っていた。 立った五〇年代の科学者らの 原子力開発の最初の岐路に 真摯に論じた随筆、 の異常性や核抑止論の錯覚を 朝永が科学と現代社会の関係 姿を映し出す貴重な座談を収 [科学論]【六月下旬刊】 震災後の世に伝える。 および、

(四六変型28頁・三一五〇円)

し論考を付す。

(四六22頁・予価三七八〇円)

『工場日記』新訳ほか

冨原真弓訳 《シモーヌ・ヴェイユ選集

 Π

中期論集:労働・革命

治を考える方法に決定的な変治を考える方法に決定的な変

数学の精神史、科学哲学の古典

かない思想家だ。ナチスに協

書である。

シュミットは一筋縄ではい

大久保和郎訳 野口雅弘解説カール・シュミット

力する一方でアーレントやア

更を迫る。ワイマール共和政

批判し、その根源にあるロマ

「決断なき政治」を痛烈に

主義を徹底検証した本書

シベリア抑留の『夜と霧』

き方とは、加害者とは、罪と ッパに独自な事件であるだけ ていった。〈告発〉しない生 よる『夜と霧』とも評される 「純粋数学の形成はヨーロ 自己とは何か。日本人に 下村寅太郎 下村寅太郎 《科学史の哲学》 的名著。数学と自然学と形而 史としての科学論を打ち立て もつものではないか」。精神 純粋数学の成立は実はきわめ る。 ロッパ精神〉形成の系譜を辿 た、科学史/科学哲学の古典 であり、深き精神史的意義を 上学の三位一体性から〈ヨー でなく、世界史的事件である。 て稀有な歴史的個性的な事件 って独自の労働理論を磨き上 たヴェイユは、未熟練女工と をめぐる諸考察』を書き上げ 巻は、 た。現場での過酷な経験によ して工場での労働に身を投じ 中期の仕事を集める。 日本オリジナル選集の第二

『自由と社会的抑圧の原因

労働と革命にまつわる

に関する論文、

時事論評を加

えた全13篇。

[哲学・思想] 【八月上旬刊】

ズム・スターリニズムの政治

岡真理解説《望郷と海》

るか」といった素直な疑念や り返し出会う迷いや疑問。そ 向き合うなかで、頻繁に、繰 者から治療者がどう見えてい のではないか――ときに「患 療を越えて、人間関係にとっ がるのだろうか。そこには治 ることがよい治療効果につな 科医。長年、面接室で患者と にその状況を受け止め、対す どの治療経験を多くもつ精神 て大事ななにかが現れている 時、治療者としてどのよう 著者はPTSDや解離性障 己分析的考察を交えなが 人格障害、社交恐怖症な

貴族や庶民の男はともかく女

パトラをどう演じたのか?

リス文学・評論] 【七月下旬刊】 類書のない独創的論考。[イギ

(四六24頁・予価三三六〇円)

5 日

(木) から8日

▼好評既刊 楠明子『メアリ・

―シェイ

年たちが〈女性〉を演じた。

への洞察からこの謎に迫った 衆文化=〈じゃじゃ馬〉など

いては女性の出番はなく、少

シェイクスピアの演劇にお

少年はクレオパトラをどう演じたか

楠明子《シェイクスピア劇の〈女〉たち

少年俳優とエリザベス朝の大衆文化》

はなぜか? 本書は当時の大

彼らはオフィーリアやクレオ



少年俳優が演じた クレオパトラ

シドニー・ロウス-

スピア時代における逸脱と挑 ンスの女たち――シェイク 三六〇円)/同『英国ルネサ

クスピアに挑んだ女性』(三

二〇世紀診断学の課題を再考する

日頃の感謝をこめ、

移行状態であると言った。 る者は神経症と統合失調症の 合失調症の亜型だと言い、 するこの病態を、ある者は統 と統合失調症の境界」を意味 八年のことである。「神経症 医学史上に表れたのは一九二 では「境界例」とはいった 「境界例」という語が精神 あ 患者の姿と治療の現実 『うつ病臨床のエッセンス』 症うつ病の精神療法論まで ■笠原嘉臨床論集 [既刊] 再び「青年期」について」 外来精神医学という方法 街角のクリニックからみた 青年期のこころは、なぜ特 「木村・笠原分類」から軽

念と症例をめぐる論考七篇 究の意義を考察する書き下ろ い何だったのか? 境界例概 [心理·精神医学【七月中旬刊】 に、二○世紀後期の境界例研 神科医のノート』(二三一 有のアイデンティティ葛藤に

想論』(三三六〇円) 一上』(二五二〇円) /同『妄 揺れるのか(各三七八〇円) ▼ロングセラー 笠原嘉『精 /同『新・精神科医の/

ます。ぜひ足をお運び下さい。 て全国の有力書店で開催され

¥3675

営業部だよりみすず書房

笠原嘉臨床論集《〈境界例〉概念と臨床》

りました。ゆったりした時間 玉の一冊です。いわゆる建築ントー)のことばを集めた珠 の中で味わいながらお読みい 受け入れていただける本にな 書の枠をこえて、幅広い層に ー・ツムトア(ピーター・ズ スイスの著名な建築家ペータ がついに刊行となりました。 話題の新刊『建築を考える』

す。この夏も読み継がれるロ 展開される「文庫本フェア_ いただければ幸いです。 ングセラーや話題の書を集め

東京国際 ブックフェア 2012

のお知らせ

国際ブックフェア」が、7月年に一度の本の祭典「東京 社が記念復刊した書籍41点42 社の会」共有ブースでは、 ぜひお越し下さい。また「八 ます。みすず書房のブースへ 籍を謝恩価格にて販売いたし に限り会場内限定で、 展示書

各

催されます。みすず書房は今 で四日間(一般公開日は後半 年も「書物復権八社の会」の 場「東京ビッグサイト」で開 員として出展いたします。 間)、有明の国際展示 (日) ま ている単行本の標準的なサイ のブックフェアです。ちなみ http://www.msz.co.jp より 枚数を明記の上、6月3日ま ズ(B6判に近い)の呼称で に四六判とは、現在出版され 11社によるハードカバー限定 に対抗して始まった、出版社 これは毎年夏場に書店店頭で フェアをご存じでしょうか? めない本たち」というブック まもなく七月上旬の刊行予定 からお待ち申し上げます 申し込み下さい。ご来場を心 でに(必着)、本紙同封のハガ ます。ご住所・お名前と必要 の招待券をプレゼントいたし 冊の展示販売や、在庫僅少本 です。あわせてお手にとって 「四六判宣言・文庫では読 「東京国際ブックフェア」 ーナーも設置いたします。 宮崎かづゑ『長い道』も、 または小社ウェブサイト

みすず書房・最近の重版より 一訳 ①¥4515 ②③各¥4725

A. V. バナジー/E. デュフロ 山形浩生訳 ¥3150 零度のエクリチュール〔新版〕 ロラン・バルト 石川美子訳 ¥2520 芸術人類学 中沢新 ¥2940 ピダハン - 「言語本能」を超える文化と世界観 D. L. エヴェレット 屋代通子訳 ¥3570 精神医療過疎の町から 阿部惠一郎 ¥2625 看護倫理 坂川雅子訳 ¥ 2520 親切な進化生物学者 O. ハーマン 垂水雄二訳 ¥4410 偶然と必然 現代生物学の思想的問いかけ J. モノー 渡辺 格・村上光彦訳 ¥2940

(A522頁・予価五〇四〇円) 『シモーヌ・ヴェイユ 『シモーヌ・ヴェイユ 初期論集:哲学修 後期論集:霊性 人生と運命 [全3巻] グロスマン 齋藤紘

業』 富原真弓訳 (五〇四(文明論』 選集Ⅱ

> 量子力学 I 朝永振一郎